

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	経営ビジネス学科							
科目名	基礎情報システム論							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期			
必修・選択の別	必修							
担当者	大箸純也							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における情報システムの代表的な活用方法の構成を説明できる ・経営の効率化と戦略決定において果たす情報システムの重要な役割を説明できる ・コンピュータ・ネットワークの基礎を理解できる ・コンピュータ・ネットワークにおけるセキュリティを理解できる 							
日程と内容	<p>9月18日 予定、成績評価法、ビッグデータ（ビデオ）</p> <p>9月25日 LANとWAN（ルーティングによるデータ転送まで）</p> <p>10月02日 通信プロトコル、インターネットの歴史、IPアドレス、NSAの盗聴暴露のビデオ</p> <p>10月09日 インターネットURLの構成、インターネットの用語、情報システムの歴史、クラウドの特徴</p> <p>10月16日 情報セキュリティ（電子認証）ビデオ：電子メールの盗聴をどう守るか（SSLはまだ）</p> <p>10月23日 SSL、ウィルスの種類、スパムメール、ビデオ：迷惑メールはなぜ来るの</p> <p>10月30日 クラウドについて（ビデオも）、前半部演習試験</p> <p>11月06日 PC遠隔操作事件、ウィルス活動、対応</p> <p>11月13日 経営情報システムの歴史と分類。販売管理での情報の要素、読取装置</p> <p>11月20日 POSシステムの仕組み、バーコードの構成、情報の利用</p> <p>11月27日 POSシステム関係のビデオ、発注システム、生産システムの概要</p> <p>12月04日 生産：MRP、3Dプリンタビデオ、カードシステム：カードの種類、長所・短所、比較するカード</p> <p>12月11日 電子マネー類の比較、マーケティングの基本、ビデオでのレコメンドとロングテール</p> <p>12月18日 マーケティング：アマゾンによる工夫、他の新たな取り組み、後半部演習試験</p> <p>1月15日 マーケティング：前回の続きと演習試験2</p> <p>1月22日 演習試験3</p>							
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	40%	計	100%				
授業到達目標の達成度	今年度は、ビッグデータ、3Dプリンタと電子マネーの項目が加わりました。その結果、サプライチェーンマネジメントとグループウェアを扱うことができませんでした。その点では9割程度の達成度であると考えます。							
反省点	それぞれの項目は示しておく必要があります。セキュリティ関係で、重要性は示しつつ、あまり具体的な内容に入らないことで簡略化し、全体を扱えるようにすべきだったと考えます。							
来年度の計画	グループウェアについては、意識せずに利用しているので、扱わなくても良いかもしれませんが、サプライチェーンマネジメントは、基礎的な項目として確実に扱うようにします（ただし、他の授業でも扱われるので、流れだけで構わないとは考えます）。							
授業評価アンケートに対するコメント	私の話し方、説明が分かり難く、また内容において関心を持ってないところが、評価が低い原因だと考えます。内容においては、各項目を完全に理解するというよりも、それぞれの項目の重要性が分かればよいところもあります。どこまで理解すべきかを理解してもらうことで、達成感を持ってもらうように考えます。							
履修登録者数	127名	定期試験 受験者数	102名	合格者数	86名	合格率	84%	